

**地域と共に育み、地域と共に歩む、地域の学校****越前市 武生西小学校**

## 1 取り組みの概要

## (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	5回(のべ)日

## (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	48人
授業ボランティア(含:低ボラ)	350人
登下校支援ボランティア	4000人
その他( )	人

## (3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

## 具体的活動内容

子どもたちの心の元気度および人間関係力向上をはかり、心の居場所と絆づくりにつなげることをねらいとし、様々な活動を展開してきた。

- 心の力をつけるためのトレーニング げんキッズだよりの裏面を活用したワークシートを各自が記入。そのまま持ち帰り、保護者と話し合うことでさらなるスキルアップを促した。
- 各学年学級ごとに、自分の気持ちや相手の気持ちを考えること、またその伝え方等々の授業を数時間ずつ行った。4、5、6年生の授業ではスクールカウンセラー、臨床心理士とともに、担任、副担任、養護教諭等複数の教員が入り、子どもたちへの支援の幅を広げたり、気がかりな場面で適宜声掛けをしたりした。

2年生の「ありがとうを返そう」の授業では、「自分たちはたくさんの人に支えられて生きていることを知り、自己の大切さに気づく」ことを目的に題材を構成し、取り組んだ。

保護者の方にも手紙を書いていただいたり、活動を温かく見守っていただいたりした。

(右写真 2年授業で支えてくれている人々を图示したもの)



6年生「心穏やかな人間関係をつくる」とともに、小グループでの話し合い活動が円滑にできるようになる」を目的に、導入の心ほぐしゲームからはじめ、サイコロトークでは色やお題について話し、相手を見ながら聞いたり、優しく拍手したりして、ほめる・ほめられる体験を味わう。まとめでは感じたことのシェアリングを行い、言われてうれしかった

ことは、ほめられたときの感じを話し合った。

### 3 保護者や地域への広がりとして

子どもたちの「心の健康教育をどのように進めているか」について、地域学校協議会、PTA研修会で紹介した。保護者の方々にパワーポイントで活動の様子を紹介した後、子どもたちの授業をそのまま体験していただいた。活動の具体的な様子は、それまでの学校からのお便りや子どもたちからの話だけでは伝わりにくかったらしく、体験した保護者からは「子どもたちが学校で体験できていることがよくわかった」「子どもの接し方が少し分かったような気がした」「もっと具体例を教えて欲しかった」「同じグループになった人たちと活動でき、楽しく、勉強になった」等々の感想をいただいた。



( P T A 研修会で保護者が活動する場面 )

### 成果と課題

昨年来、本校は文科省より<魅力ある学校づくり調査研究事業>の指定を受け、中学校校下の5小中学校で連携し、研究を進めてきている。「わかる授業のために」「豊かな心を育てるために」「小中連携のために」の3本を柱として掲げ活動してきたが、この場では「豊かな心を育てるために」についてまとめた。

学校評価アンケートを行ったところ、子どもたちからは「居心地のいい学級である95.4%」「人に嫌がることをしたり、嫌なことを言ったりしなかった81.3%」。保護者からは「子どもたちは楽しく学校生活を送っている96.5%」「子どもは思いやりの心が育っている93.4%」「子どものことをよく理解し合い、相談し合える学校である94.0%」の評価をいただいた。

今後ますます個々の児童が自己肯定感を持ち、自信を持って活動し、助け合える仲間がいる学校を目指し、研究を進めていきたい。さらにこれらの活動には保護者、地域との連携が不可欠である。日頃より保護者はもちろん、見守り隊・地域の方にあいさつし、お互いに顔を覚えあうことで、いつでも子どもたちに声をかけてもらえ、見守ってもらえる学校、地域にしていきたい。